

事業報告 令和4年度

学校法人 鴨谷学園

美木多幼稚園

1、教育目標の達成

人間形成の根っこの部分にあたる幼児期の教育は最も大切である。恵まれた自然環境を生かしながら、一人ひとりの育ちの違いをふまえ、教職員が連携をとり日々の保育に最善を尽くした一年であった。

そこで、本園オリジナルカリキュラムによる保育実践から、子どもの行動・子どもの姿から見えてきたものを次にまとめる。

- ① 学年の枠を超えて、自由遊びを楽しむ子どもの姿を園内の至る所で見かけた。
- ② 年3回の自由登園は定着し、設定保育では経験できない活動を体験することができた。
- ③ 「おはようございます」「ありがとうございます」「さようなら」と気持ちの良い挨拶を交わす子どもたちが多くみられた。
- ④ 友だちと仲良し活動を嬉々とする子どもたちの姿が多く見られた。
- ⑤ 生活の基礎・基本が定着し、幼児期に求められる生活習慣が定着した。
- ⑥ 恵まれた地域の環境を生かした体験的な活動を多く取り入れ、子どもたちの興味・関心を生かした遊びを創造し、充実した園生活を構築した。

教育目標達成に向けて、前年度に引き続き大きな成果を見ることができた。

常に、教職にあるものの自覚の上にたって、子どもたちには「教育愛」を基本姿勢として懸命に取り組んだ一年間であった。

来年度も引き続き、子どもたちから大いに慕われ、保護者からは期待と信頼される教員でありたいと願っている。

2、美木多幼稚園オリジナル活動

1、自然の中の体作り

- ① 乾布摩擦と朝の駆け足運動
 - ② 年長組の夏場のわらぞうり着用
 - ③ 歴史の山 榎尾山グリーンランドの登山・新ひのお公園へのハイキング
 - ④ 自然探検 鴨谷をめぐって遊ぶ。
- ◎ 「継続は力なり」友だちと走り続けて力をつける。
- ◎ 自然の子は、自然と遊ぶ中で発達段階にふさわしい体力づくりに一定の成果をみた。
- ◎ 鴨谷公園の広い空間をくまなく駆け回って、幼いなりに体力づくりに頑張った。
- ◎ 高い山登りに挑戦して、最後までやり抜くことの大切さと、大きな達成感を味わう。

2、心をこめた手作りのいろいろ

- ① 卒園アルバム
 - ② お誕生日カード
 - ③ 園だより
 - ④ 行事プログラム（運動会・作品展・音楽・生活発表会・卒園式・入園式）
- ◎ 本年度も保育者からの心のこもった手作り作品がみられた。多くの保護者から高い評価や喜びの声をいただいた。
- ◎ 年を重ねるごとに、保育者のアイデアが豊かになり、素晴らしい手づくり作品を生み出した。

3、絵画・制作

- ① 絵画については、年間計画にしたがって発達段階にふさわしい描画作品を仕上げた。
 - ② 絵画・制作については、専科指導教師による教員研修を計画的に行った。
- ◎ 一年間にわたり、熱心に取り組んだ成果は子どもたちが完成した作品に見ることができた。

4、音楽・リズム教育

- ① 年少組では、日々の歌やリズム遊びを中心に音楽遊びを楽しんだ。
 - ② 年中・年長組では、鍵盤ハーモニカを中心に音楽遊びを楽しみ、また、2月の発表会において、たくさんの楽器を使いクラスごとに一つの曲の合奏を楽しむことを目標に取り組んだ。
- ◎ 音楽遊びを通して、仲間と共に楽器を演奏することで、美しい曲を作り上げることができること、仲間の音を聞きあうことで美しい曲が出来上がることなどを子どもなりに理解させることができた。

5、教職員の研修

- ① 園外での研修会には、計画的に参加し資質向上に努めた。
- ② 園内研修の充実に努め各領域ごとに講師を要請し、年間の研修計画に基づいて取り組んだ成果は大きい。

6、子育て支援事業

- ① 自由登園 年3回 希望する園児の登園 友だち同士の遊びの輪を広げた。
- ② 家族登園は、在園児並びに保護者は勿論のこと、地域の幼児・児童も参加し様々なふれあい活動の輪を広げた。
- ③ 預かり保育は年々充実し、早朝と延長保育の希望者が増えてきた。子ども達には嬉しい週に4回の管理栄養士による手作りおやつを提供し、おやつメニューも充実している。
- ④ 預かり保育中の遊びや、部屋の雰囲気などを考え、子ども達に安らぎの空間を工夫した。
- ⑤ 教育相談・キンダーカウンセリングは、地域の方にもご利用いただけるように案内の機会を設けた。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていることを認められている。

新しい取り組み

- ・ 両親の就労が進む中、可能な限り保育時間を一定にする。
 - ・ 地域社会との関わりを大切に考え、『美木多中学校区健全育成協議会』参加組織の一員として地域一斉清掃活動に参加した。
- ◎常に、子どもの自由遊びと休養のバランスを考慮しながら、新しい時間の過ごし方を工夫しながら保護者のニーズに応えた。

・ 来年度に向けて

- ◎今年度は、年度当初の教育計画により保育を進めた。特に大きな問題もなく一年の保育を終了した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、行事の充実化をより一層図りたい。課題と考えている部分については、反省を生かしながら次年度の取り組みとしたい。
- ◎来年度も、前年度に引き続き地域社会との関わりを大切に考え、『美木多中学校区健全育成協議会』活動へ参加予定である。
- ◎姉妹園が三園となり、それぞれの特色を生かした交流活動を推進することによって、互いの園活動の充実を図る。